

【事業報告】

(総括事項)

国の「森林・林業再生プラン」に基づき、大幅に見直された補助制度に伴う森林経営計画の樹立と、森林所有者である組合員等との森林経営委託契約の締結に取組んできました。その結果、十一団地1,460haについて森林經營計画を作成し、市町村長の承認を得ました。今後も森林經營計画の樹立に向け取組んでまいります。

本年度は、作業路網を八路線11,000m開設と、搬出間伐を中心に国有林、民有林合わせて約10,000m³の搬出を致しましたが、材価の低迷により苦戦を強いられました。また、国、県、市町村、森林総合研究所、林業公社等事業にも積極的に

参加し、総取扱高で5億4,500万円の事業を実施することができます、当期剰余金370万円を計上することができます。

また、木曽谷では下流域の愛知中部水道企業団と木曽川「水源の森」森林整備協定を結んで、森林整備を行っていますが、この協定のおかげで間伐等森林整備は大きく進んでおり、上流域の私達はもっと高く評価し、感謝すべきと感じております。

ここに、あらためてご支援ご協力を賜りました国・県・市町村関係者、並びに組合員の皆様方に心より厚く感謝を申し上げます。

勤続三十年以上
柴垣嘉和
大久保一彦

勤続十年以上
奥原孝康
青木誠太郎
黒内良夫
小田学

勤続一年以上
松川久男
岩原和彦

七月一日付
事務職員(パート)
太田悦子

六月一日付
技能職員
小山史剛
森下佳則

永年勤続表彰の皆さん

今後の一層のご活躍をご祈念申し上げます

●ごくろうさまでした
七月一日付
事務職員
奥谷明恵

●どうぞよろしく
六月一日付
技能職員
小山史剛

人事のお知らせ

●ごくろうさまでした
七月一日付

事務職員
奥谷明恵

●どうぞよろしく
六月一日付
技能職員
小山史剛

●どうぞよろしく
六月一日付
事務職員
奥谷明恵

●どうぞよろしく
七月一日付
事務職員(パート)
太田悦子

●どうぞよろしく
六月一日付
技能職員
小山史剛
森下佳則



組合員の皆様へ 木曽谷流域森林整備推進協定 について

木曽地方事務所林務課

「木曽路はすべて山の中である」の書き出しで知られているのが、島崎藤村の『夜明け前』であるが、正に木曽は、森林とともに、歩んできた地域です。

今も、木曽地域の森林からは、長野県の木材生産量の約二割の六万m³が生産され、豊富な森林資源を背景に、県下の生産量となっています。

しかし、生産量の約八割は、国有林から生産される木材であり、民有林は、その資源量が十分活かされていません。木曽地域の森林は年間二十七万m³ずつ成長を続けており、道路の整備や高性能林業機械の導入等を促進するこ

とにより、十分活用できるも

のと思われます。
また、ご存じのように、塩尻市で、信州F・パワー・プロジェクトが進められており、県下最大の製材工場が稼働することになっています。

木曽地域では、平成二十六年までに約三万haの森林経営計画を樹立するため、森林所有者の皆様に御協力をお願いをしてているところです。

木曽地域は、地域面積の約六割が国有林であり、国有林と隣接する森林は、共同して計画を立案し、効率の良い道路の整備や計画的な施業をする必要があります。

木曽地域は、このプロジェクトに、大量の木材を安定供給できる地域となることが、求められています。

このようない状況の中、木曽地域の民有林の森林所有者は、長期化する木材産業の低迷や保育事業費の高騰から、森林経営の意欲が薄らいでてしまっています。

木曽の森林を活かすためには、長期化する木材産業の低迷や保育事業費の高騰から、森林経営の意欲が薄らいでてしまっています。

これらの課題を解決するため、木曽地域の各町村、各森林組合、木曽森林管理署、木曽森林管理署南木曽支署、木曽木材生産事業協会、木曽官材市売協同組合、木曽広域連合、長野県木曽地方事務所の十五者が、「木曽谷流域森林

